

概要と市章



会津の北部に位置していたことから北方(きたかた)と称されていましたが、明治8年の県布達により小荒井、清次袋、小田付、塚原、稲村の5か村が合併し喜多方町をつりました。明治22年の町村制の施行により、松山、上三宮、岩月、関柴、熊倉、慶徳、豊川村のそれぞれが成立していますが、昭和29年3月、これら1町7か村が合併し喜多方市の発足となりました。現在は会津地方の中核都市としての街づくりが積極的に進められています。

市の木・市の花・市の鳥



市の木/松
昭和47年3月27日制定



市の花/さつきつつじ
昭和47年3月27日制定



市の鳥/セキレイ
平成9年3月28日制定

市民の歌

関河惇 / 作詩
市歌制定審議会 / 補作
佐藤広市 / 作曲



昭和43年11月21日制定

交通

